

令和 7 年度

卒業証書・専攻科修了証書授与式

祝文①(順不同)

祝 辞

全国の5つの商船系学科を有する高等専門学校(高専)を含む全国の51の高専の設置者でございます国立高等専門学校機構(高専機構)の理事長の谷口でございます。

全国の商船系高専の令和7年度の卒業式並びに専攻科の修了式にあたり、高専機構を代表いたしまして、一言お祝いの言葉を申し上げます。

卒業生・修了生の皆さん、本科卒業の皆さんは、この5年半の、また、専攻科修了の皆さんには7年半ですが、この就学期間中に、我が国をはじめ世界が対応に苦慮した新型コロナウイルス感染症への対応を迫られたこともあったと思います。国際情勢が複雑化する中で、動きが制限されたこともあったかと思います。皆さんは、これまで、数々の困難を乗り越えてこられ、本日、本科ご卒業ならびに専攻科修了を迎えられました。誠にめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本科の学生諸君は、約6カ月学生としての最後の長い航海を終えて上陸されたばかりかと思いますが、本日、この卒業式を迎えられています。この間、幾多の困難の中で、それを乗り越えて、また、航海実習訓練では、船の中での楽しい中にも厳しい訓練を乗り越えて、一回りも二回りも成長されたことと思います。今般の航海、よく頑張りました。また、ご苦労様でした。

皆さんは、様々な困難の中で、予定した活動ができないこともあったことと思います。例年にも増しての大変なご苦労があったものと思います。このような状況の中での皆さんの新たな船出にあたり、重ねて、皆さん、一人ひとりのこれまでの多大の努力に敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

また、今日まで、限りない愛情をもって成長を見守ってこられました保護者の皆様には、その感慨もひとしおのことと存じます。心より感謝申し上げます。保護者の皆様におかれましては、どうぞ、大きく

遅しく成長された学生諸君を褒めてあげてください。

そして熱意あふれるご指導をされてこられた校長先生をはじめ教職員の皆様におかれましても、今日まで、学生諸君の成長を支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

本日、学び舎を巣立って行かれる卒業生、修了生の皆さんは、輝かしい歴史と伝統を誇る商船高専での学びを基に、新たな世界へと船出されます。学生生活の様々な思い出とともに、新たな決意を胸に抱き、前途に思いを馳せておられることと思います。

重ねて、申し上げます。皆さんは、航海実習を含む極めて厳しい訓練に耐え抜き、知識・技能とともに忍耐力や非常事態にも対応できる適正な判断力をも修得されました。素晴らしいことです。良く頑張ってくれました。

高専で学んだ多くのことをしっかりと生かし、これからも様々なことに果敢にチャレンジし、一人ひとりが自らの道を力強く切り拓かれていかれますことを心から願っております。

また、卒業生、修了生の皆さんには、第一に、皆さんの成長を、陰に陽に支えて下さった御家族・保護者の皆様への感謝を忘れないで欲しいと思います。また、先輩・後輩などの仲間にも、そして、教職員の方々への感謝も忘れないで欲しいと願っております。

学生諸君や保護者の方々、教職員の皆様、そのほか多くの関係者の皆様の様々な努力は、我が国の政府の皆様にも認めていただいて、5つの商船高専に順番に、一回り大きく、また、最新の機能を備えた練習船を、新しく建造いただいています。新大島丸、新弓削丸、新鳥羽丸が完成し、そして4つ目の新若潮丸が来春には出来上がります。どの船も素晴らしいもので誇りに思ってください。残り1つも今年建造に入ります。卒業には新練習船の建造が間に合わなかった高専の皆さんは、是非、完成の折には、お祝いに駆けつけてください。

海に囲まれた世界屈指の海洋国である日本（我が国の海の広さ・面積では、世界6位、体積では世界4位、生活や産業を支える物資の輸出入について、重さベースで計算した場合の99.7%は、海運に依

存していることは、学生諸君の皆さんはよく知っていると思います)、昨今の国際情勢が緊迫する中で、海上運輸は、特に、この海洋国日本にとって、極めて重要な役割を担っています。皆さんがいなければ、我が国の活動は成り立たないのです。この海洋国日本にとって皆さんは、我が国の海運を支える重要な人材です。責任も重大です。皆さんはまさに、社会の財産、宝である人「財」です。このことは、忘れないでいただきたいと思います。

また、船舶は、近年の国内外で頻発する様々な大規模な自然災害に際しても、物資の運搬はもとより、人を救助することにも大きな役割を果たしています。船舶は、我々の生命線と言っても過言ではない極めて重要な役割を果たしています。皆さんは、人や社会のために、その重要な役割を担う大きな任務を与えられています。このことを改めてしっかりと認識しておいてください。先ほど申し上げた、新しく建造された3つの、また、これから建造される新練習船は、従来のものより一回り大きくなって、この災害救助の役割を持った船になっています。

皆さんは、無限の可能性に満ち溢れています。社会の宝としての自負を持って、また自信を持って、今まで得た知識や技能・技術、人間力を最大限に発揮し、海洋国日本の明るい未来の担い手として、世界を舞台に羽ばたいてください。船は、そして皆さんは世界をつなぐ重要な役割を担っています。

結びに、大きな夢と希望を抱いてそれぞれの道へと進まれる皆さんの将来が、豊かな実りと、多くの喜びにあふれることを心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

本日の大いなる船出、誠におめでとうございます。

Von Voyage !!

令和7年9月吉日

独立行政法人国立高等専門学校機構
理事長 谷 口 功

大島商船高等専門学校商船学科卒業証書授与式及び

海洋交通システム学専攻科修了証書授与式を

迎えらるる皆様にご心よりお祝い申し上げます

諸先生方の教えのもと 勉学や運動に精励し 共に励ましあつた
仲間とともに今日の日を迎えられ 感慨もひとしおと存じます

コロナ禍では様々な状況や想いを乗り越えてこられました

その経験は必ずや今後の人生に活かされることでしよう

光輝ある母校に誇りを持ち 貴校で得た

専門知識や技術 経験を活かし

夢に向かって邁進され 新しい世界でのご活躍を

お祈りいたします

令和七年 九月 十九日

デジタル大臣政務官兼内閣府大臣政務官

衆議院議員

岸 信千世





航学第 2025-33 号
2025 年 9 月吉日

大島商船高等専門学校
卒業生ご一同様
修了生ご一同様

公益社団法人 日本航海学会
会 長 竹本 孝弘



拝啓

ご卒業・修了を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

謹んでお祝い申し上げます。

今後は、在学中に磨き鍛え上げた旺盛な知力、気力、体力をもって
社会の荒波を乗り切っていかれることを期待しております。

敬具

お祝い

お届け台紙名 『カトレア』
お届け日 2025年09月17日

大島商船高等専門学校 校長
藤本隆士 様

卒業生の皆様の晴れの門出をお祝い申し上げます。今後のご活躍を
お祈り致します。

一般社団法人日本船主協会
会長 長澤 仁志

6051—011754



栄えある

卒業証書・専攻科修了証書授与式を祝し

心からお慶び申し上げますとともに

ご卒業の皆様

輝かしい明日への御活躍と

貴校の益々の御発展を

お祈り申し上げます

令和七年九月吉日

山口大学長

谷澤

幸生



令和七年度卒業証書・専攻科修了証書授与式の
御盛典を祝し、卒業生・修了生諸君のご多幸を
お祈りいたします。

令和七年九月吉日

神戸大学大学院海事科学研究科長

平山 勝敏

大島商船高等専門学校長 殿



お祝い

お届け台紙名 『カトレア』
お届け日 2025年09月18日

大島商船高等専門学校長
藤本 隆士 様

栄えある卒業証書・専攻科修了証書授与式を祝すとともに、卒業生
・修了生の皆様の今後一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

国立大学法人東京海洋大学長
井関 俊夫

6051-011759



祝 文

栄えあるご卒業ならびにご修了を祝し
今後のご活躍を祈念いたします

令和七年九月吉日

徳山工業高等専門学校長

阿部 恵

大島商船高等専門学校

卒業生、修了生ご一同様

祝文

御卒業並びに御修了

おめでとうございます

皆様の今後益々のご活躍を

心からお祈り申し上げます

令和七年八月吉日

宇部工業高等専門学校

校長 金 寺

登

御盛典を祝し

洋々たる前途に幸多かれと

お祈り申し上げます

令和七年九月吉日

富山高等専門学校長

國枝佳明



祝 詞

栄えある卒業証書・専攻科修了
証書授与式を祝し卒業生・修了
生の皆様の今後のご活躍と貴校の
益々のご発展をお祈りいたします

令和七年九月吉日

弓削商船高等専門学校長

内田 誠

祝 詞

栄えある御卒業・御修了を迎えられた皆様
心からお祝いを申し上げますとともに
学びし学舎の精神のもと

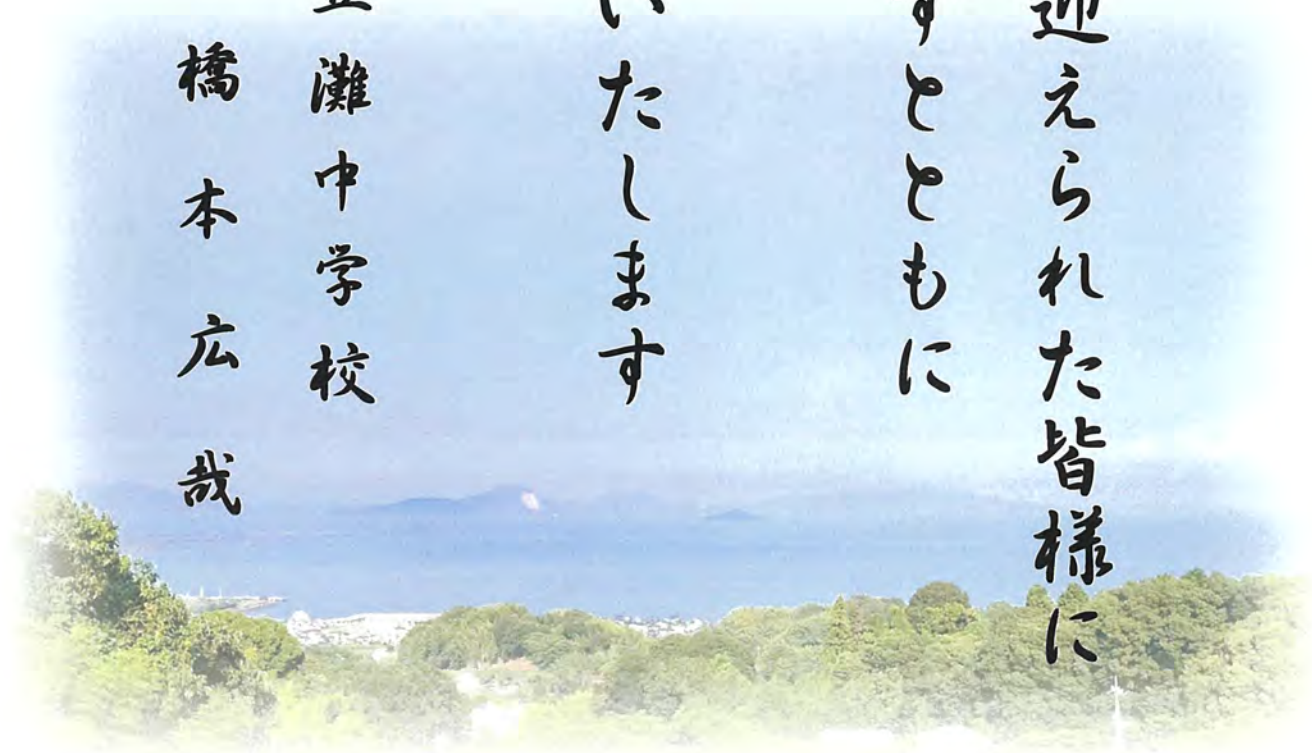
ますますの御活躍をお祈りいたします

令和七年九月吉日

自立 共生 創造

岩国市立灘中学校

校長 橋本 広 哉



祝文

ご卒業おめでとうござい
ます
輝かしい前途の門出を祝
し
ご活躍をお祈りいたします

令和七年九月吉日

岩国市立川下中学校

校長 重本 浩志

教職員一同

卒業生ご一同様



祝 辞

栄えある御卒業を祝し心から
お喜びを申し上げます

未来を担う皆様が益々研鑽を
積みまれ大きく翼を広げて世界
に飛翔されることをお祈りし
ております

令和七年九月吉日

岩国市立麻里布中学校

校長 山本敦士

御卒業おめでとうございます

数多くの思い出を胸に今学び舎を

巣立って行かれる皆さんの未来に

幸多かれとお祈りいたします

一步一步確かな歩みで自分の道を

進んでください

さらなる飛躍を期待しています

令和七年九月吉日

上関町立上関中学校

校長 藤 本 剛

職員 一同